

第2回浜黒崎小学校・大広田小学校統合検討協議会

開催日：令和6年6月25日（火）

開催時間：19時00分～19時40分

開催場所：浜黒崎地区センター

出席者：針山会長、森委員、清澤監事、池田委員、竹田委員

渡辺副会長、宝田委員、谷井委員、山本委員、仲田委員、佐藤委員

事務局：教育委員会事務局次長 高橋 洋

学校再編推進課長 山崎 悟

学校再編推進課長代理 高岡 太郎

学校再編推進課計画係主査 春田 圭介

学校再編推進課計画係主事 大関 光貴

《開会》

【司会】 第1回浜黒崎小学校・大広田小学校統合検討協議会を開催する。

（会長 挨拶）

《議事進行：第4号議案》

【針山会長】 前回、本協議会の会則について、委員からいくつか指摘のあったことについて、改正案として審議する。事務局から説明を求める。

【学校再編推進課長】 （第4号議案について説明）

【針山会長】 第4号議案について、何か質問等はあるか。
ないようなので、第4号議案について、原案のとおり可決することに異議はあるか。

（「異議なし」の声あり）

【針山会長】 異議なしと認める。よって、第4号議案は原案のとおり可決することに決定した。

《統合についての意見交換》

【針山会長】 それでは、統合についての意見交換に入る。まずは、地域の議論が先行している浜黒崎小学校区からの意見を伺いたい。渡辺副会長にお願いする。

【渡辺副会長】 針山会長から話があったことについて、説明させていただく。前回の協議会后、浜黒崎小学校区の委員で協議を行い、また他方面にも協議の場を設け、いろんな意見等をまとめてきた。時期はいつか、場所はどこにするのか、あとはスクールバスと3つのポイントがあったが、まず場所については大広田小学校でお願いする。

スクールバスについては、浜黒崎小学校が統合するに当たって、必ずスクールバスを通すのが、大前提である。

一番大事な時期については、決めたからには早いほうがいいだろうという意見が大方の意見であったため、令和8年4月には統合したいという旨をこの場で申し上げる。

それと、もう一点だけお伝えしておきたい。意見の中で、ある一定数、学校名はどうするのかという話が出ていた。ただし、この学校名を議論すると、大広田小学校区の立場もあるだろうし、時期も遅れのではないかとということで、いろんな意見はあったが、浜黒崎校区としては、名前を変えるということではなく、大広田小学校のままで、浜黒崎小学校区の子どもたちがそこへ通うという形の最終案に取りまとめた。ただし、そういう意向があったということだけはまた心の中にお含みいただきたい。

【針山会長】 今ほど浜黒崎小学校区からの意見があった。これを受けて、大広田校区の委員から、何かこのことに対しての意見、あるいは他に考えがあれば申し出ていただきたい。改めて、私から言わせてもらおうと、今の3点については、時期は2年後の令和8年4月。それから、統合する場所は大広田小学校。スクールバスは、大広田は今のところ対象外のため、これは浜

黒崎校区と市教委との話合いになろうかと思われる。そして、学校名もいろいろ意見があったとのことだが、それを議論していると時間の問題等があるという渡辺副会長の話であったため、大広田小学校という名前で統合ということで、この4点について話があった。

それについて、大広田の委員からは何かあるか。

【委員】 今ほどの意見について、何か資料のようなものはないか。
これは大広田の意見というか、委員としての意見で、あればどうかということで。後から言った、言わないとなったら、面白くないし、せめてそんなことぐらいは書いて意見を述べたほうが、より重みがあっていいのでは。

【針山会長】 これについては、事務局で、今日意見を出したものを集約し、協議会ではこういうものを要望するというのを出すということになるということでよいか。

【学校再編推進課長】 今、渡辺副会長から発言のあった内容を合意書という形にまとめ、次回、第3回で文章化することを想定している。

【委員】 その進め方を聞くと、取りあえず議事にまとめます、次回発表します、合意書になりますとなると、持ち帰って議論する時間がないのではないか。

【司会】 渡辺副会長から浜黒崎小学校区の意向について発言があり、その内容を受けて、この検討協議会としての意見を本日まとめていただきたい。そのまとめた結果は、内容を文章にし、事務局より各委員に配布する予定でいる。その後、所属する各団体の合意を得ていただき、結果を第3回協議会でご報告いただきたい。

【委員】 それはいつまでに出してもらえるか。

【司会】 今週中に、両会長に確認の上、御案内したい。

【針山会長】 ほかに何か意見などはあるか。

なければ、もう一度確認する。

統合の時期は令和8年4月。場所は現在の大広田小学校。浜

黒崎小学校の児童のためのスクールバスについては、運行することを前提に教育委員会と協議する。そして、学校名は大広田小学校のままとする。

両校下については、各団体あるいは町内会長などにこの内容を説明いただきたい。

大広田校区もこの内容で、特に異論はないと思うが、念のために皆さんの意見を集約させていただきたい。その結果については、次回の協議会で発表させてもらう。

これで、今日の審議事項は以上である。次回の協議会については、我々も各校下へ、協議の内容を周知するために、会合を開いたりしなければならないため、次回の日程について、聞かせていただきたい。

【学校再編推進課長】 今のところ、第3回目として9月の中下旬頃で検討している。

【針山会長】 その点、1つ要望だが、今回中田委員がどうしてもやむを得ない事情で欠席だったが、日程を一方的に決めるのではなく、2案か3案ほど用意いただき、全員参加できるようにしたい。

【学校再編推進課長】 承知した。

【針山会長】 では、他に意見などあるか。

【渡辺副会長】 1点だけ確認したい。令和8年4月と言ったが、大広田小学校の学校の施設、例えば2年後だと浜黒崎小学校は70人ほどの児童数になるが、施設の規模は大丈夫か。下足箱とか、単純な話だが、教室だとかは。

【学校再編推進課長】 備品のほうは確認しないとわからないが、収容力として現在の大広田小学校でも十分収容できるものと認識している。

【針山会長】 もっと細かい話で、例えば放課後に子どもたちの学童保育はどうなるのかとか、いろいろ問題点が出てくるかと思うが、勉強する分については問題ないと聞いている。

【委員】 小学校からは、統合の話が出ているのであれば、子どもたちのメンタル面を考えて、早速、明後日1・2年生を対象に交流学习が始まると連絡があった。学校の先生たちのほうでも

一生懸命やってくれてるんじゃないかと思われる。

【針山会長】 大広田でも、もったいない市という行事が7月15日にあるが、浜黒崎の子どもの保護者と話して、ぜひ一緒に参加してほしいという話もしている。

【委員】 浜黒崎でもたくさん話合いをされ、いろんな苦悩がある中で、取りまとめた結果を、今回伝えていただいているものと受け止めている。特に浜黒崎校区は大広田から見ても、郷土愛をすごく感じる校区であり、前向きな思いだけではない方も、もちろんいるだろうということは想像する。

「浜黒崎が大広田に来たいんだ。」「入れてください。」ということではなく、大広田は大広田で、人数が減っていたり、地域力をどうしていこうかっていう課題がある中で、少し手を伸ばして一緒につながり合う仲間を増やすというだけのことだと、少なくとも私は思っている。子どもたちには、「友達が増えるんだ。」「あっちからも来るんだね。」「バスで来るんだ。いいね。」みたいに軽やかに越えてくれることを期待したいし、「楽しみにしててね。」というのは、子どもたちにも発信していきたい。

【委員】 市教委に質問させていただく。もし大広田の地域の中でも全て合意いただいたときに、その次のステップとして細かいことを決めていかなければいけないと思うが、令和8年4月になると日が迫っているが、大体どんなことをどれぐらいの期間をかけて決めなくてはいけないのか。

【学校再編推進課長】 檜尾小学校が八尾と統合した事例では、大体1年ほどかけて、学校の開始時間や、児童健全育成事業、スクールバスの運行、体操服などの20項目程を、すり合わせしていくというような状況になる。

【委員】 八尾・檜尾の協議会だよりも、協議事項というのが上がっていた。通学方法、スクールバス、地域児童健全育成事業のこと、子どもかがやき教室のこと、それから教育目標、児童の

持ち物、自転車乗車ルール、校時、学校行事、児童会、学校集金、PTA、交流事業、小学校の見学会、移転作業、閉校式、あとはコミュニティスクールとかっていうのが協議事項に大まかに上がっており、これをしらみ潰しにやっていくのかと。

【委員】 その項目というのは提示してもらえないか。

【学校再編推進課長】 次回、ステップ3の協議項目について説明させていただく。

【委員】 それに関して、資料は事前配布はできないか。

【学校再編推進課長】 事前にお手元に渡るように手配させていただく。

【委員】 健全育成のことだが、浜黒崎小学校のあり方協議会のときに保護者の方の意見を吸い上げ、健全育成ルームは浜黒崎独自のものをつくっていただきたいとお願いし、了承していたと思っているが、違うか。

【学校再編推進課長】 そのように聞いており、引き続き浜黒崎での健全育成事業をできるよう調整をさせていただく。

【委員】 今後、統合の話が決まっていく段階で、今、学校に通っている保護者や地域の皆さんに、説明会はするのか。それとも書面で案内するのか。

【学校再編推進課長】 基本的には協議会だよりを全戸配布し、お知らせする形で考えている。もし保護者向けの説明会が必要であれば、提案いただければ、検討させていただく。

【委員】 檜尾小学校の際は、協議会の中でこういう事項を決め、今後こういうふうに進めていきますといった説明会はあったか。

【司会】 檜尾のときはなく、八尾小学校とのすり合わせをした結果を、協議会だよりという形で全戸配布しており、今回も同じ流れを想定していた。

【針山会長】 いろいろやり方はあると思うが、私どもは今日の話を持ち帰り、まず自治振興会やPTAと各種団体長が集まる機会をつくって説明をする。それで、やはり住民の皆さんにも知らせる場を設けなければという声があれば、小学校の体育館を借

りて住民大会を開く。そういうものが必要であれば我々は我々でやりますということになるんじゃないか。

ですから、浜黒崎地区でも、この話をどこかの時点でまた同じような大会やられる必要があれば、それはそちらのほうで。

【渡辺副会長】 こちらできちっと協議します。確かに必要かもしれない。

【針山会長】 本日は議題以上のことまで進んだが、これで終わりたいと思う。ほかに質問などないか。

【委員】 今、統合で市教委が話合いに入っているが、大広田でいうところの教育新興会の話はお互いで話をするのか。そこに市は入る必要はあるか。

【針山会長】 入れれば入れたになる。

【委員】 学校にこういう寄附してますよというもので、浜黒崎地区とバランス的に合っていれば問題ないが、差があるとどちらに合わせるのかという問題が出てくる。

【委員】 そういう話合いも必要だ。

【委員】 そういったこともあるから先ほどの協議項目を出してもらえば、それ以上のことも議論できる。

【針山会長】 協議事項の細かい部分はどちらかといえば浜黒崎校区との話になる。大広田校区の児童の体操服などはそのまま、大広田に合わせてもらうとか、浜黒崎校区の児童には、例えば、体操服はそのまま着てもいいとか、新しく入学してくる子たちから合わせてもらうとか、いろいろやり方はある。そういうものに対応するために、今言われたような項目が分かれば出してもらおう。それ以外に何か抜けがあれば、そこへ付け加えていくと、このようにして次回やっていけばよいのではないか。

【学校再編推進課長】 日程の調整と併せて、その資料もご用意する。

【針山会長】 最後に事務局から報告事項はあるか。

【司会】 事務局から報告させていただく。

次回の第3回浜黒崎小学校・大広田小学校統合検討協議会に

については、各団体の意見集約の状況等も考慮し、9月の中下旬に開催予定とし、各委員には日程調整の案内をさせていただく。

【針山会長】 それでは、以上で、第2回浜黒崎小学校・大広田小学校統合検討協議会を終了する。

—— 了 ——